

令和8年度昭島市立多摩辺中学校  
技術科 年間指導計画、評価基準〔第1学年〕

学期	月	時数	単元と内容	単元のねらい	観点別評価基準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	2	技術分野のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。</li> </ul>
	5	5	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材、金属、プラスチックの特性について調べる。</li> <li>・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる</li> <li>・材料と目的に応じた工具や機械を選択する。</li> <li>・簡単な加工体験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。</li> <li>・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。</li> <li>・工具や機械を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工の技術に定められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。</li> </ul>
	6						
2	7	14	材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備する。</li> <li>・切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線を付かく。</li> <li>・材料を切断線に従って切断する。</li> <li>・寸法線に従って加工する。</li> <li>・加工後、検査・修正し、仮組み立てをする。</li> <li>・組み立てをする。</li> <li>・組み立て後、検査・修正する。</li> <li>・素材や用途に合った表面処理をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に必要な図の描き方を理解している。</li> <li>・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。</li> <li>・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。</li> <li>・材料と加工の技術の概念について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。</li> <li>・構想に基づいて、製作の計画を立てることが出来る力を身に付けている。</li> <li>・材料と加工の技術の最適化について考えている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
	8						
	9						
	10						
	11						
3	12	8	情報の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会、産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。</li> <li>・コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。</li> <li>・セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステムがあることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。</li> <li>・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。</li> <li>・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。</li> <li>・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の技術に定められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。</li> <li>・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けてようとしている。</li> <li>・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。</li> </ul>
	1						
3	2	6	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べ。</li> <li>・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。</li> <li>・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</li> <li>・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> </ul>
	3						
合計時数		35					

令和8年度昭島市立多摩辺中学校  
技術科 年間指導計画、評価基準 [第2学年]

学期	月	時数	単元と内容	単元のねらい	観点別評価基準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	14	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 生物育成の技術による問題解決 社会の発展と生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物育成の技術とは</li> <li>作物の育成環境を調節する技術</li> <li>作物の成長を管理する技術</li> <li>動物を育てる技術</li> <li>水産生物を育てる技術</li> <li>生物育成の技術の工夫の読み取り</li> <li>動物の育成計画</li> <li>成長に合わせた適切な育成</li> <li>生物育成の技術の最適化</li> <li>これからの生物育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物を育てる技術の目的について理解している。</li> <li>作物の育成環境を調節する技術について理解している。</li> <li>育成環境を工夫して作物を育成することができる技能を身に付けている。</li> <li>作物の成長を管理する技術について理解している。</li> <li>動物を健康に育てるための技術について理解している。</li> <li>水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。</li> <li>植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。</li> <li>育成する作物に適した環境条件について考えている。</li> <li>育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。</li> <li>育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</li> <li>生物育成の技術の最適化について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に生物育成の技術について考えようとしている。</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
	5						
	6						
	7						
2	8	10	エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換の技術とは</li> <li>発電の仕組みと特徴</li> <li>電気を供給する仕組み</li> <li>電気回路について考えよう</li> <li>電気機器を安全に使用するための技術</li> <li>運動エネルギーへの変換と利用</li> <li>回転運動を伝える仕組み</li> <li>機械が動く仕組み</li> <li>機械の共通部品と保守点検の大切さ</li> <li>エネルギー変換の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。</li> <li>発電の仕組みと特徴について理解している。</li> <li>電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。</li> <li>電気回路の仕組みについて理解している。</li> <li>簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。</li> <li>電気機器の安全な使い方について理解している。</li> <li>機械が運動を伝える仕組みについて理解してい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。</li> <li>送電・配電の技術の工夫について考えている。</li> <li>電気による事故を防ぐ方法について考えている。</li> <li>エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。</li> </ul>
	9						
	10						
	11						
3	12	9	エネルギー変換の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路または機構モデルの設計・製作</li> <li>問題解決の評価、改善・修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。</li> <li>構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</li> <li>構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。</li> <li>構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。</li> <li>製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> </ul>
	1						
	2						
	3	2	社会の発展とエネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換の技術の最適化</li> <li>これからのエネルギー変換の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換の技術の概念について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換の技術の最適化について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとして</li> </ul>
合計時数		35					

令和8年度昭島市立多摩辺中学校  
技術科 年間指導計画、評価基準 [第3学年]

学期	月	時数	単元と内容	単元のねらい	観点別評価基準								
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
1	4	14	情報の技術の原理・法則と仕組み  計測・制御のプログラミングによる問題解決 統合的な問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会、産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。</li> <li>コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。</li> <li>セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステムがあることを知る。</li> <li>計測・制御システムとは</li> <li>問題の発見、課題の設定</li> <li>計測・制御システムの構想</li> <li>計測・制御システムのプログラムの制作</li> <li>問題解決の評価、改善・修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。</li> <li>情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。</li> <li>情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。</li> <li>情報セキュリティの基本的な知識について理解している</li> <li>計測・制御システムの基本的な構成を理解している。</li> <li>計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。</li> <li>安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。</li> <li>使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。</li> <li>「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</li> <li>入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。</li> <li>情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</li> <li>計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。</li> <li>情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。</li> <li>主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</li> </ul>						
	5												
	6												
	7												
	8												
	9												
	10												
	11												
	12												
	2							1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術の取組進化</li> <li>これからの情報の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術の概念について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術の取組進化について考えている。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとする。</li> </ul>
								3	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術分野の学習を終えて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学年間で学んだ材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術について理解しているか振り返らせる。</li> <li>SDGsと技術との関わり</li> <li>学んだことを社会に生かす</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
								3					
合計時数		18											